

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

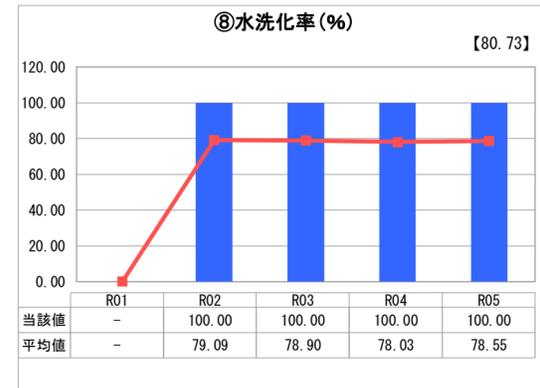
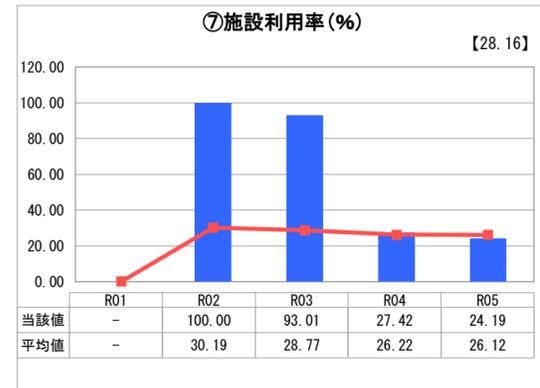
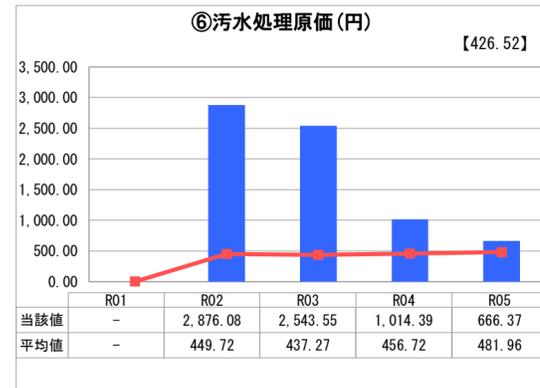
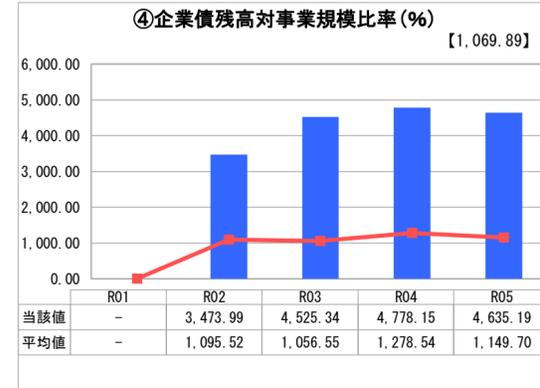
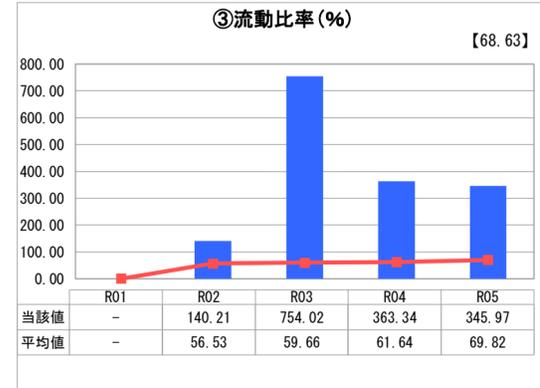
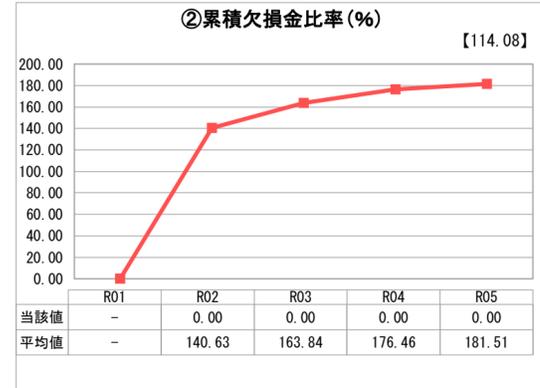
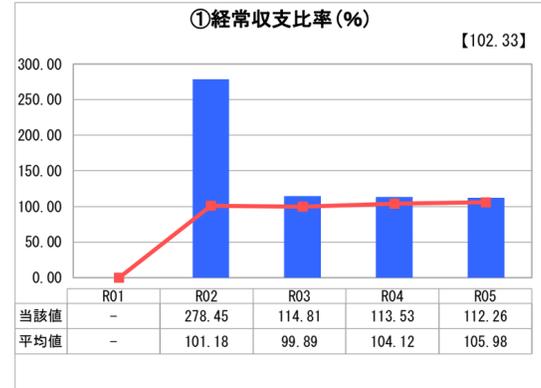
宮城県 塩竈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	84.96	0.27	72.17	3,300

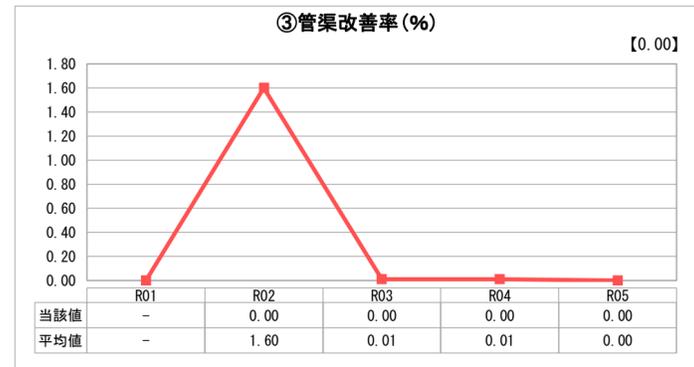
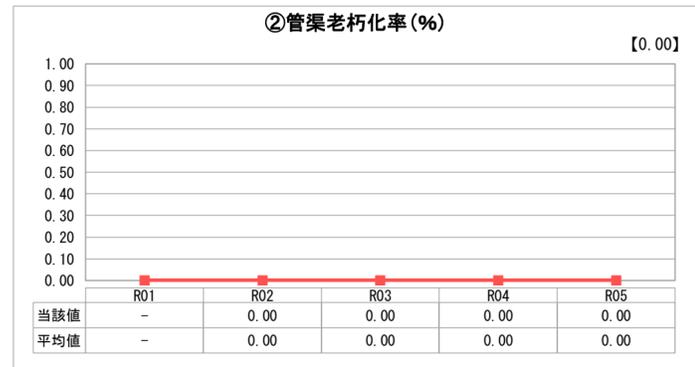
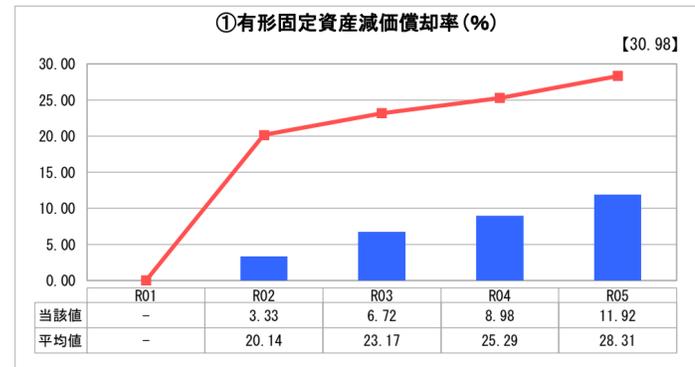
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,058	17.37	2,997.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
140	0.12	1,166.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を上回っており、健全な経営状態と言えます。しかし、当該施設は過疎化の進む離島に存していることから、利用者の増加が見込めないため、今後更なる事業運営の効率化に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は発生しておらず、健全な経営状態です。

③ 流動比率は、100%を上回るため支払い能力は十分にあるといえます。

④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体と比較して高い数値となっています。今後は、ストックマネジメント計画に基づき慎重に検証します。

⑤ 経費回収率は改善傾向にあります。令和5年度は離島の汚泥引抜作業がなかったため、汚水処理費が前年度に比べて減少したことが要因として考えられます。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体と比較して高くなっており、過疎化島嶼のため、他地域と比べ人口規模に対して施設規模が相対的に大きいため維持コストが高いものと分析します。

⑦ 施設利用率は、類似団体とほぼ同比率であり、令和3年度までは災害復旧工事により工事関係者が流入し、施設利用率が高くなっていましたが、令和3年度に工事が完了したため、令和4年度からは数値が小さくなっています。

⑧ 水洗化率は、類似団体と比較して高い数値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較して小さくなっています。これは、法適用前の償却累計額を控除した額を、開始時点の資産として計上したためと思われる。

管渠の老朽化が進行しています。今後は、ストックマネジメント計画に基づく効率的かつ効果的な施設更新を実施していきます。

② 管渠老朽化率はありません。

③ 管渠改善率はありません。

## 全体総括

本市漁業集落排水事業は、その立地が過疎化の進む離島という特殊条件から、新規の利用者の増加を見込むことが困難であるうえ、現状の処理区域内人口では経営自体が非常に困難であると言わざるを得ない。

令和2年度に公共下水道事業と統合し公営企業会計へ移行したことから、今後は、統合した長期的な財政計画のもと、ストックマネジメント事業にとりくみ一層の事業運営の効率化に取り組む必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。